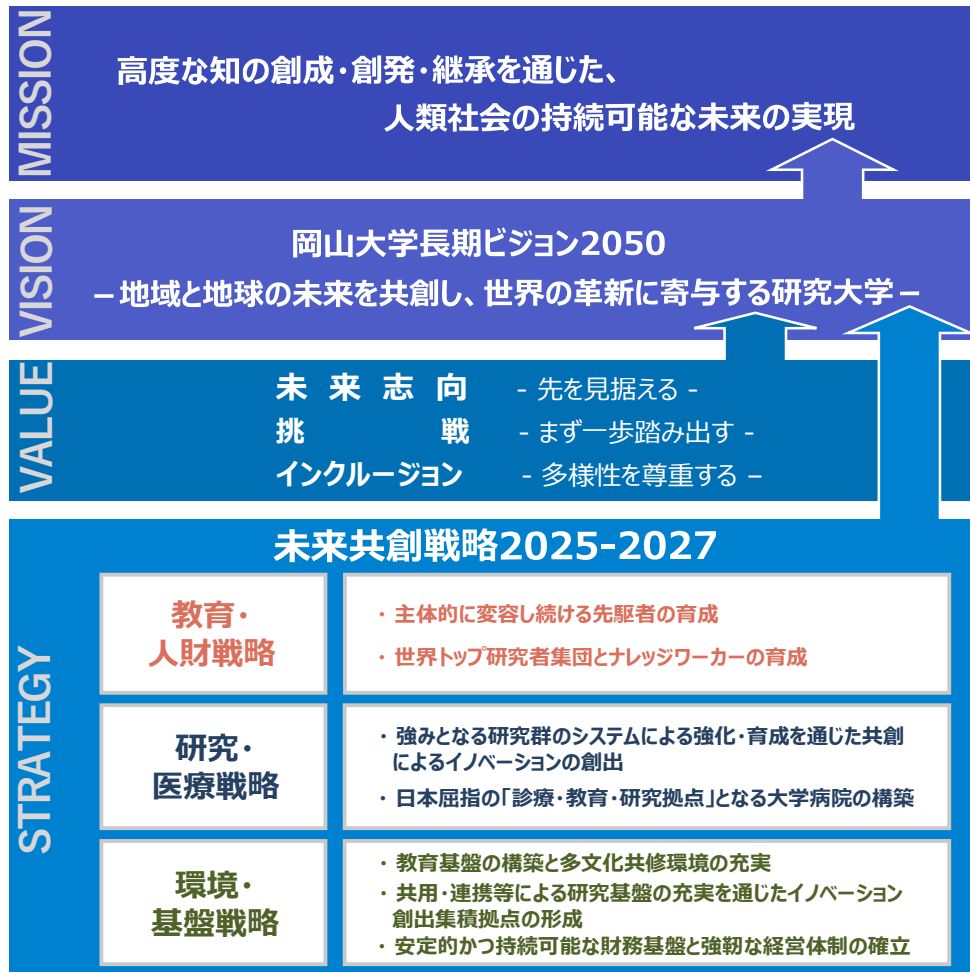


I 岡山大学のミッション・ビジョン・バリュー・ストラテジー



<ミッション>
岡山地域は、日本初の庶民のための学校「閑谷学校」創建、備中松山藩の財政再建・教育改革など、社会課題に向き合ってきた歴史と、人・物・文化が交わる要所として多様な交流が育まれてきた地理的特色を有しています。
岡山大学は、「研究大学」として、こうした地域の歴史と特色を背景に、多様な知と人材が集い新たな知を生み出す知の交差点となり、高度な知を生み出し(創成)、分野を越えて知を融合し発展させ(創発)、未来を担う人材を育むことでその知を次世代へと受け継いでいきます(継承)。そして、学内から地域、世界へと広がる多様なステークホルダーと共に地球規模の課題解決に取り組むことで、持続可能な未来の実現に貢献します。

<ビジョン>
本学は、そのミッションの達成に向け、長期的な気候変動対策の目標である2050年をターゲットイヤーと定め、「岡山大学長期ビジョン2050：地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学」を掲げています。この長期ビジョンは、本学が研究力・イノベーション創出に活動の根幹を置き、世界と伍し、地域の中核となる研究大学として歩みを進めた先、2050年に目指す理想像を表したものです。
地域の中核となる研究大学として、学内外のあらゆるステークホルダーと志を共有することで、地域と地球の「ありたい未来」を共創し、持続可能な社会の実現に貢献する姿。世界と伍する研究大学として、新たな価値創造と世界の革新に貢献する人材となる「主体的に変容し続ける先駆者」を育成し、研究力・イノベーション創出の強化推進を通じて、世界の革新に寄与する姿。
本学は、この二つの側面をもつ研究大学として未来を切り拓いていきます。

<バリュー>
本学は、ビジョンの実現に向けて構成員一人ひとりが日々の行動において大切にしている共通の指針(バリュー)として、「未来志向」「挑戦」「インクルージョン」を掲げました。
広い視野で未来を見据え(未来志向)、その未来に向けてまず一步を踏み出すこと(挑戦)によって、学内外すべてのステークホルダーのWell-beingを追求します。こうした思考と行動を支える基盤として、多様な価値観を尊重し、誠実な対話を通じてステークホルダーとの相互理解を築くこと(インクルージョン)を大切にします。
また、本学のバリューは岡山大学長期ビジョン2050「地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学」と密接に結びついています。多様な価値観を尊重し、ステークホルダーと対話を重ねる姿勢は、地域と地球の未来をともに形づくるための土台となり、未来を見据えて果敢に一步を踏み出す挑戦は、世界に革新をもたらす原動力となります。

<ストラテジー>
本学は、これまで「岡山大学長期ビジョン2050」の実現に向け、第4期中期目標期間において「岡山大学ビジョン3.0」を掲げ、改革と挑戦を重ねてきました。その取り組みを発展的に継承し、第4期中期目標期間の残期間(2025～2027年)における戦略として策定したのが、「未来共創戦略2025-2027」です。
本戦略は、「教育・人財戦略」「研究・医療戦略」「環境・基盤戦略」の3つを柱とし、大学の中核機能を横断的に強化・推進する枠組みであり、多様な構成員の主体的な参画を原動力として、長期ビジョン2050の実現を力強く進めていきます。